

2019-20年度RIテーマ
ROTARY CONNECTS THE WORLD
ロータリーは世界をつなぐ



RI会長
マーク・ダニエル・マローニー

TAKEHARA ROTARY CLUB WEEKLY BULLETIN 竹原ロータリークラブ週報

会長	宮本 和彦	会計	田中 幸俊	管理運営	本庄 純夫
会長エレクト	久藤 孝仁	S A A	三好 静子	会員組織	堀越 賢二
副会長	山根 積	副S A A	金澤 節生	奉仕	吉本きよ子
幹事	山根 積	直前会長	板場 英行	広報	大成 義彦
副幹事	三好 静子			R 財団	野田 眞治

事務局/〒725-0026竹原市中央4丁目8-2第1 おおぎビル102号

TEL/0846-22-7570 FAX/0846-22-7651

E-mail/rc-take@estate.ocn.ne.jp

http://www.takehara-rc.com

例会日/毎週木曜日12:30~13:30

例会場/大広苑 TEL(0846)-22-2970

本日のプログラム 10月31日

(11月)誕生祝・各会員各記念日祝
誕生月該当者会員卓話

次週のプログラム 11月13日

職場例会
島根原子力発電所見学

【2019年10月10日 第2674回 例会記録】

- 点 鐘
- ロータリーソング: それでこそロータリー
- ゲスト: 東広島市長 高垣廣徳様
随行 東広島市秘書課長 多賀弘行様
- 会員数: 24名 (免除者: 3名)
- 出席者: 19名 欠席者: 2名
- メイク: 3名 出席率: 91.67%

スマイルボックス

- 会員誕生日…夜船
- 特別スマイル
・高垣市長の御訪問に感謝し、歓迎致します。益々のご活躍をお祈り申し上げます。(宮本和彦)

クライングボックス

- ・今朝深夜1時、建物火災でお一人の方が亡くなくなりました。今朝帰宅は5時でした。
“火の用心” (久藤孝仁)

幹事報告

幹事 山根 積

- ・竹原市暴力団追放市民総決起集会及び街頭パレード参加のお願い
日時 10月19日(土)
場所 竹原市民館
- ・第二回竹原市キャリア・スタート・ウィーク実行委員会ご案内
日時 11月20日(水)
場所 竹原市民館

<連絡事項・回覧>

- ・10/17, 10/24=休会
- ・10/31プログラム=11月お誕生日祝
- ・10/31例会終了後理事会(11月分)開催
- ・10/24家庭集会出欠回覧

会長の時間

会長 宮本 和彦



国際連合軍縮担当上級代表(事務次長)中満 泉様のインタビュー記事にロータリーに関する部分がありましたので抜粋してご紹介させていただきます。

国際連合 国連軍縮担当上級代表(事務次長)
中満 泉 氏(56才)

1989年に国連難民高等弁務官事務所に入る。
2017年5月に軍縮担当上級代表(事務次長)に就任。
現在、国連の日本人職員で最高位。高校生の時に「マザー・テレサ」のドキュメンタリー映画を見て、将来を考えるきっかけとなるが、「私は高潔な人間ではないので、マザーテレサの様になりたいと思っただけではありません。」
1987年にジョージタウン大学大学院に進学した二年間に貴重な出会いや経験があった。
ロータリークラブの奨学金を受けることが出来、大学院の一年目の授業費と生活費を全額支給して下さることになりました。ロータリー奨学生には、ホストファミリーのような面倒を見てくれるような人がついて、レーガン政権下で農務次官などを歴任したシーリー・ロドウィック氏にお世話になることにな

りました。

ロータリー奨学生は、ロータリークラブの例会に行き、留学中に一度は「卓話」をしなければならない決まりがありました。只、その人はワシントン近郊のロータリークラブを連れまわして、30回も40回も卓話をやらせるんです。「大学院で勉強も大変なので勘弁してほしい」とお願いしたら、「いつか良かったと思う日が来るから、騙されたと思ってやっごらん。スピーチは場数を踏むことが必要で人前できちんと主張が出来ないと将来やりたいと思っている仕事もできないよ」と言われた。

実際にその通りになり、感謝しています。

<ロータリアンの行動規範>

1. 個人として、また事業において高潔さと高い倫理基準を持って行動する。

委員会報告

□親睦活動委員会 委員長 鴨宮 弘宜

10月24日(木)18時より大広苑に於いて家庭集会を開催しますのでご出席下さい。班編成は出席状況を見て決めさせていただきます。

創立55周年ですが、本日5回目の実行委員会を開催しました。予算について提出して頂きました。10月31日の理事会審議後皆様にお知らせします。

外部卓話

『選ばれる都市、東広島を目指して』

東広島市長 高垣廣徳 様



皆様こんにちは。ご紹介頂きました、東広島市長の高垣でございます。今日は、竹原ロータリークラブの卓話にお招きを頂きまして誠にありがとうございます。

今から55年前の今日10月10日は、東京オリンピックの開会式でした。なぜこの日に決められたかということ、実はこの日はほとんど雨が降らない特異日ということで決められました。私は小学校5年生でした。今でもその時のテレビの映像を鮮明に覚えています。

来年はいよいよ、東京オリンピック開催の年です。

さて、今日は竹原の地で東広島のお話しをするのはどうかと思ったのですが、竹原ロータリークラブは安芸津の方も会員でいらっしゃるということ、そして、竹原市の今榮市長とは一緒になることが多くあり色々お話しをするんですが、行政も例えばごみの問題や、し尿処理問題は、同じ組合で一緒にやらせて頂いています。

そして医療圏も、広島中央二次保健医療圏ということで一緒です。東広島市と竹原市、大崎上島町と一緒に連携しながら一体的な発展をしないといけないという関係になります。その中で今日は、東広島市がどんな“まちづくり”を目指しているかを少しご紹介させていただきます。

<東広島市を取り巻く社会情勢の変化>

東広島市が合併したのは昭和49年、今年で45年になります。45年の間に様々なインフラが整備されました。そのような中で東広島市は全国的に見たらどのような評価なのか。まちづくりの課題を捉え、次のステージへどのように向かうのか、お話ししたいと思います。

今、世の中は急激に変わろうとしています。例えば地球環境問題、今回の台風19号についてもそうです。これまでに考えられないような凄強い強風をもた

らすような台風です。これは正に地球環境の問題です。国連では、平成27（2015）年にSDGs（持続可能な開発目標）が採択され、令和12（2030）年までに達成すべき17の目標が示され、13番目に“気候変動に具体的な対策を”と掲げられています。我々一市民も真摯に考えなければならない大きな問題です。

一方では、携帯電話も5Gの時代になり、大容量が伝送されるようになってきています。時間の差もなくなり、次のデジタル社会のベースになるような技術がどんどん進展して、我々が抱えている社会問題をこういう技術・テクノロジーが解決してくれる時代が近づいているように思っています。そういうことを頭に入れながら、将来に向けた投資をしないと無駄になるのではないかと。このような時代背景を踏まえる中で、どのような“まちづくり”を目指すのかということをお話しさせていただきます。

<これまでのまちづくり>

わが市は、昭和49年、西条・八本松・志和・高屋の4町の合併により誕生しました。その時の人口は65,000人。また、平成17年には、広域合併で、黒瀬・福富・豊栄・河内・安芸津の5町と合併しました。その時の人口は184,000人位です。前回の国勢調査は192,907人でした。来年が国勢調査の年ですが、恐らく195,000人位の人口になっているのではないかと思います。

平成17年までには莫大な投資がされました。新幹線新駅ができ、高速道路網が整備され、飛行場は三原市本郷町ですが、東広島市に近いところに整備され、インフラもでき、広島大学、広島国際大学、近畿大学工学部、エリザベト音楽大学の4つの大学があります。

また、東広島寺家産業団地、吉川第二工業団地、広島中央サイエンスパーク、独立行政法人酒類総合研究所もあり、まさに国際学術研究都市になってきています。

一方で、わが市の特徴は、豊かな自然と豊穡の大地です。広島県で一番多い耕地面積で、農業も重要な産業です。

<これからのまちづくりの課題>

- ・人口はこれまで一貫して増加してきたが、少子高齢化の影響を受け、将来的に減少に転じることも想定される。
- ・これにより、企業活動の縮小、コミュニティ活動の停滞、福祉・医療分野の負担増など、持続的な発展への影響が懸念される。
- ・産業構造は特定の分野に偏重しており、世界経済の影響や景気の変動を受け、市の施策推進に大きく影響するおそれがある。
- ・大学や研究機関等と地域企業との連携が十分ではなく、地域資源を活かしたイノベーションの創出があまり進んでいない。
- ・市内の公的産業団地が完売となるなど、企業の立地要望に応えられていない。
- ・商業、宿泊、飲食、娯楽機能の集積が他の都市と比較して低く、多くの域内需要が広島市に流出しているなど、文化・娯楽等の面での都市機能の不足が、人口の定着にも影響している。
- ・大学、研究機関の立地による各種会議等が多いが、宿泊機能やアフターコンベンション機能が弱く、都市のにぎわいや魅力を楽しむ需要が域外に流出している。
- ・昨年発生した豪雨では、市民生活や企業活動に甚大な被害が発生。
- ・山林の荒廃や雨水流出への対応の遅れ、ため池の適切な管理など、様々な課題が表面化した。
- ・今後は、災害からの復旧・復興を進める中で、ハード・ソフトの両面にわたって強靱な地域づくりを推進し、市民の生命・財産を守り、安全・安心の期待に応える環境を形成することが求められる。
- ・市内4大学に17,000人以上の大学生が在籍しているが、市内就職率は概ね3%。
- ・本市で学んだ人材が継続的に本市で生活し、国内外で活躍できるような環境づくりが必要である。
- ・市街地では交通渋滞が深刻化、周辺部では公共交通機能の存続が大きな課題。
- ・より効率的で利便性の高い移動手段の選択が地域において可能となるよう、様々な方策を検討し、改善を図ることが必要である。
- ・市中心部では、人口が増加しているが、サービス産業の集積、三次救急を担う医療機能、保育機能が弱い。
- ・周辺地域では、高齢化、過疎化により、コミュニティの形成機能や基礎的な生活機能の維持及び地域に

おける道路、上下水道などへの投資効率の低下が懸念される。

- ・ 少子高齢化や災害なども懸念される中で、住民自治協議会、消防団、自主防災組織など地域の各種団体の担うべき役割も増大する。
- ・ 一方で、担い手不足などの問題もあり、地域の活力維持のために必要な住民活動を持続できるよう、効果的な支援策が必要。

<東広島市のこれからのまちづくりの方向>

現在、第5次東広島市総合計画を作っています。これは、2020年から2030年までのおよそ10年間を目標とするもので、10年後の世界がどのように変わっているかをイメージしながら目指すべきまちの姿を描き、そして市民の皆さんと共有しながらやっけて行こうと取り組んでいます。

就任して1年8か月ですが、就任した時から次の新しい総合計画を作る必要があると考えていましたが、もうすぐパブリックコメントが出せる時期になると思います。

目指すまちの姿は、

1. 地域イノベーションの積極的な展開
2. 希望ある未来へ挑戦する新たなプロジェクトの展開
3. 次の時代を見据えた地域共生社会の実現
4. 豊かな自然環境の保全と活用
5. 国際色豊かなまちの形成 です。

選ばれる都市となるために、『未来に挑戦する自然豊かな国際学術都市、住みたい、働きたい、学びたいまち、東広島』を目標として、最終的な取りまとめ段階にあり、今後、パブリックコメントを踏まえ、議会での審議を頂き、総合計画を決定する予定です。

東広島市も頑張りますので、竹原市もともに発展して頂ければと思っております。

ちょうど時間になりました。ご清聴ありがとうございました。

